

社会学同派諸君の暴力的自治破壊を

断固として糾弾する。

昨夜、中執で暴行、乱闘！

大学自治の内部からの破壊を許すな！

全学友に訴える。

学内民主主義の暴力的破壊を

断固として糾弾する。

全学友諸君、期待に胸をふくらませ一週間を過ぎた新生諸君、我々は極めて残念な、しかし重大な事を全学大友、全学大友の前に明らかにしなければならぬ。

【昨夜、中執で暴行、乱闘】 21日午後6時半より南大に中央執行委員会、社会学同派諸君（E学部N、H、J学部A、ST学部I、C学部K君ら）は、426学連統一行動の意見の相異なり、N君が突如、机の上に王冠になるや、S中執に殴りかかり、それを合図にイス、机を投げつけ、中執を組織的暴力的に破壊するという暴挙に出た。更に自治会室の扉を外からバリケードで固め、窓ガラスを打ち破り、ジュースの空ビンを投げつける一方、「ゲバ棒だ、ゲバ棒だ」（注：ゲバ棒ト棒の誤植のこと）ヘルメットを持って来い」と叫び、周辺の木材、イスでゲバ棒を製造し、学内での乱闘事件をひきおこした。

我々は社会学同派諸君の学内民主主義の組織的暴力的破壊を断固として糾弾する。

大学自治の内部からの破壊を

許すな！

我々は痛くも知っている。法政大学で、早稲田大学で、このような乱闘事件を契機に校務が導入され、警察の学内捜索が、そして大学の自治破壊がそれを通じて行なわれようとしている事だ。

昨年は月からの自民党市議団の市大改選は終わったわけでは無い。政府自民党は大学自治破壊、大学支配の運動を強めている。このような中で学内内部での民主主義の暴力的破壊、乱闘事件をひきおこす事の反動は明白である。

我々は全学友の、全学大友の自覚と団結によって、大学自治の内部からの破壊を未然に予防しなければならぬ。

中執は毅然たる処置を！

各クラスで弾劾決議を！

市大自治会は我々の先輩達の血の滲む努力で、暴力行為、学内民主主義の破壊を大衆的に克服して来た。しかし、社会学同派諸君によって再びそれが破壊されようとしている。今、この向題に回をつぶる事、曖昧な態度をとる事は、客観的にはそれを許容し、ひいては政府自民党の本格的自治破壊を許してしまふものである。口元（くは）に火がついていて平和ではありえない。中執は真相を全学大友の前に明らかにせよ。ロクラン（ロクラン）は我々のために、我々は我々のために。

民学同アピール

大学自治を防衛し——'68 4/22 No.4

民主的学園建設のために。

全ての民主的学友は民学同に結集しよう。